

令和6年8月1日

四国総体出場校剣道部顧問・引率者 様

愛媛県中体連剣道競技部
専門部長 小笠原 直輝

令和6年度 四国中学校総合体育大会 剣道競技における諸連絡

1 日時・場所・日程・試合順等

- (1) 日時 令和6年8月6日(火) 13:00～17:30
8月7日(水) 8:10～15:30

- (2) 場所 愛媛県武道館 主道場

- (3) 日程

8月6日(火)：竹刀検量・事前練習

- ・開場 13:00～(2階主道場正面入口)
- ・竹刀検量 13:30～17:00
- ・事前練習 14:00～17:00

※前日稽古終了後、各校の責任の下で、剣道具等は2階観客席に置いて帰っても構わない。
ただし、席取りなどを目的とした置き方にしないこと。1列に整理整頓した状態で剣道具を置くこと。紛失等の責任について大会本部は負わない。

8月7日(水)：試合当日

- ・開場、竹刀検量 8:00～(県武道館2階主道場正面入口)
- ※監督・引率・選手が先に入館。保護者は8:10～から入館。
- ・竹刀検量 8:00～9:00
- ・アップ 8:15～8:50
- ・審判、監督会議 8:45～ (県武道館大会議室)
- ・開始式 9:10～
- ・試合(団体戦) 9:30～12:30
- ・個人戦出場選手稽古 12:30～13:20
- ・試合(個人戦) 13:20～
- ・表彰式 15:30

※ 男子 1・2試合場 女子 3・4試合場

※ 閉会式は実施せず、表彰式のみ実施する。

2 試合について

- (1) 試合は、全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則、新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法、日本中体連剣道競技部申し合わせ事項により試合を行う。
団体戦、個人戦ともにトーナメント方式で行う。

試合は3分間3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は、団体戦は引き分け、個人戦は2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。

- (2) 団体戦は、延長戦を行わない。リーグ戦は、勝者数、総本数ともに同数の場合は引き分けとする。決勝トーナメントは3分間1本勝負の代表者戦を行う。時間内に勝敗が決しない場合は、2分ごとの延長戦を、勝敗の決するまで行う。

- (3) 延長戦における休息等は以下の通りとする。
 試合時間 3分⇒延長 2分⇒延長 2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】開始線付近で 10 秒程度
 ⇒延長 2分⇒延長 2分⇒【休憩（面を外して給水）（5分）】
 ⇒延長 2分⇒延長 2分⇒【小休止（深呼吸をする程度）】開始線付近で 10 秒程度
 ⇒延長 2分⇒延長 2分⇒【休憩（面を外して給水）（5分）】⇒試合の続く限り繰り返す
- (4) 選手は試合および練習においては、顔に直接着ける「マスク」か、面金内側に装着する「シールド」のどちらかの着用を義務付ける。
- (5) 選手は、鏝競り合いをしない試合を心がける。やむを得ず鏝競り合いとなった場合はただちに分かれるか、ただちに引き技を出す。「鏝競り合いの解消」とは、お互いに間合い（竹刀が交わらない距離）を完全に切る。解消されない場合は審判員が「分かれ」、或いは状況により「止め」をかける。
- (6) 試合途中でも体調不良を感じた「本人」、あるいは競技者の様子に異変を感じた「監督」は、主審に対して試合の中断を申し出ることができる。その場合、状況に応じて面を外し水分補給ができる。

3 日本中体連剣道競技部重点的な指導の取組の徹底

- (1) 「蹲踞」「始め」の場合：竹刀を抜きながら蹲踞する。
 「終わり」の場合：納刀した後、右手を右太股においてから立ち上がる。
- (2) 相互の礼をする前や後、選手交替時における余計な所作はしない。（小手合わせ、胴づき、発声など）このような所作が見られた場合には、監督に指導を行う。

4 竹刀検量について

- (1) 主道場 1 階の中央入り口付近で竹刀検量を男女別で行う。
- (2) 出場選手が竹刀検量所に提出できる竹刀の本数は、1 人 3 本までとする。
- (3) 竹刀検量所に提出する竹刀は所有者が提出する。
(柄革に学校名と氏名を書いていることを確認)
- (4) 検量に合格しなかった破損・不正竹刀は本部で終日預かる。その竹刀は試合終了後に本部まで取りに来る。
- (5) 6 日の竹刀検量は 13 時 30 分～17 時 00 分までとする。
- (6) 7 日の竹刀検量は 8 時 00 分～9 時 00 分までとする。
- (7) 時間外の再検量は大会本部（主道場正面）にて行う。

5 審判・監督会議

審判・監督会議は、県武道館大会議室にて 8 時 45 分から行います。

6 大会時の監督等の服装

武道という観点から、短パン、Tシャツ等の服装はお控えください。男性であれば黒・紺・グレーなどのスラックスに白ワイシャツ、女性であればそれに準ずる服装でお願いします。

7 外部指導者について

外部指導者の入場を認めていますが、生徒への指導は主道場の外に出てから行ってください。原則、監督席に座ることができませんので御注意ください。自校で作成した名札を着用してください。

8 1階主道場の立ち入りについて

主道場に入ることができるのは、監督・引率・外部指導者・登録選手・出場校の剣道部員のみとします。

引率・外部指導者・出場校の剣道部員は、1階のロールバックで試合の観戦をしてください。

監督・引率・外部指導者は名札を着用してください。審判も監督席では名札を着用してください。

9 応援・撮影について

保護者の応援並びにビデオ、カメラ撮影は2階観覧席でお願いします。フラッシュ撮影、標準合わせのランプは、試合進行の妨げになりますので、御遠慮ください。

関係者に限り、1階での撮影については、ロールバックチェア内に着席し、撮影をしても構いません。

撮影した動画、写真をSNSにアップしないようにしてください。

10 荷物（剣道具）や靴置き場、更衣について

(1) 荷物について

- ・ 荷物は各校で整理整頓をしてください。
- ・ 大会後の忘れ物が目立ちます。剣道具を含む私物には、必ず記名してください。

(2) 靴置き場について

- ・ 生徒の靴は袋に入れて各自で管理してください。出入口や靴箱に置かないでください。また、袋に入れず、そのまま室内に置いている場合があります。お気を付けてください。

11 熱中症対策について

主道場には、冷房を入れておりますが、各自で適宜水分補給等を行い、熱中症予防に努めて下さい。また、選手は自分の試合会場の近くに水筒等を持って移動して下さい。

12 その他

- (1) 各自、靴袋・傘袋等（雨天時）を御持参ください。
- (2) 監督・引率者は、学校で使用している名札を着用してください。
- (3) 自校の部員の試合がすべて終了した学校から退館していただいて結構です。
- (4) 搬入口周辺や河川敷付近で喫煙をされる方が見受けられます。喫煙は必ず、所定の喫煙場所をお願いします。

※ 以上、これらの件について何か御不明な点がありましたら、松山東雲中学校 小笠原 (089-941-4136) まで御連絡ください。よろしく申し上げます。